

産業建設委員会記録

令和2年8月7日（金）

09時56分～13時16分

全員協議会室

【委員】串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】西川議員、小川議員、西村議員、牛尾議員

【議長団】

【執行部】

（産業経済部）湯浅産業経済部長、佐々木産業経済部副部長（兼広島事務所長）、大驛商工労働課長、山口産業振興課長、田中ふるさと寄附推進室長、永見水産振興課長、戸津川水産振興課副参事、久佐農林振興課長、石原農林振興課副参事、岸本観光交流課長

（都市建設部）鎌田都市建設部長、倉本維持管理課長、邊建築住宅課長、佐古建築係長

（弥栄支所）外浦弥栄支所長、三浦弥栄支所産業建設課長

（三隅支所）田城三隅支所長、永田三隅支所産業建設課長

（地域政策部）岡田地域政策部長、邊地域政策部副部長（兼まちづくり推進課長）
川合定住関係人口推進課長

【事務局】近重書記

議 題

1. 執行部報告事項

(1) ゆうひパーク浜田株式会社の経営状況について（報告） 【商工労働課】

(2) 漁業別水揚げについて（報告） 【水産振興課】

(3) プレミアム付はまだ飲食・宿泊応援チケットの販売状況について（報告） 【観光交流課】

(4) 浜田市ふるさと体験村施設の指定管理者選定について（報告） 【弥栄支所産業建設課】

(5) 有限会社ゆうひパーク三隅の経営状況について（報告） 【三隅支所産業建設課】

(6) 令和2年7月13日・14日の豪雨による農林関係被害状況（報告） 【農林振興課】

(7) 令和2年7月13日・14日の豪雨による被害状況 【維持管理課】

(8) 雇用促進住宅金城団地の管理について 【建築住宅課】

(9) その他

2. その他

3. 意見交換

(1) 浜田漁港エリア周辺の活性化への執行部の取組状況や方針について

(2) その他

以上

【議事の経過】

[09 時 56 分 開議]

串崎委員長

ただ今から、産業建設委員会を開会する。出席委員は7名で定足数に達している。

それでは、レジュメに沿って進める。

本日の流れだが、議題1、2は現在の配席で行う。議題3の時は関係部課の方と意見交換を行うので該当部課の方は出席をお願いします。

なお、執行部報告事項は補足説明のみとしているので、委員の皆もご承知の上で、質疑は簡潔明瞭にお願いします。

1. 執行部報告事項

(1) ゆうひパーク浜田株式会社の経営状況について（報告）

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

布施委員

前期150万円利益が上がっている。道の駅で150万円の利益が上がっているということは、様々な取組があつて要因があると思うが掴んでおられるか。

商工労働課長

前期の150万円の要因は、経費削減に取り組んでいる。電球のLED化等の結果と伺っている。今後の課題は収益を上げることなので、そこに力を入れたい。

布施委員

経費の削減ということで電気代の節約があるが、お客さんがいないから電気を消すということではなく、LED等考えて、道の駅全体で取り組んでいただいた。

(1)の総入込客数（自販機含む）34万4022人と、自販機の総入込客数を除いた25万3661人ということは、自販機を利用したのは9万人弱。このカウントは自販機の売上本数で見ているのか。1人が2本購入したら2人分になるのか。自販機の売り上げは後の報告事項にもあるゆうひパーク三隅でも上がっているが道の駅は自販機の売り上げが売り上げに寄与していると思うが。そういったカウントか。

商工労働課長

道の駅なので、通過してトイレのみで店舗には立ち寄ってもらえないこともある。しかし自販機は夜間もずっと稼働しているので利用もあるのだろう。入込客数の数え方は把握していないので確認してから報告する。

布施委員

人数だけでも9万人というのは客単価にしても1本100円か150円としても結構な数字になる。お土産やレストランについては千円前後の客単価が平均だが、プラス安定的な売り上げとして24時間稼働している自販機は安定的な売り上げに直結している。所管課としてカウントの仕方を把握しておいてほし

	い。
	損益計算書の、27期と28期の営業外収益と営業外費用、27期は営業外収益が1767万3000円で、当期の28期は1456万2000円で、300万円あまり減っている。しかし費用は上がっている。本来なら売り上げが下がったら費用も減ってくるものだが、逆に上がったのはどうしてか。
商工労働課長	営業外収益については、国土交通省からのトイレに係る維持管理費、光熱水費等の負担金、公園清掃管理委託料の収益等が上がっている。前期の300万円の差であるがLEDの取り替えによって国から補助金300万円もらっている所以その差がここに上がっている。
布施委員	費用が反対に上がったのはなぜか。国の補助ではないと思うが。
商工労働課長	費用については、確認できていないので後程回答する。
布施委員	令和元年度は黒字であると。企業においては黒字経営は健全である。資料に令和2年度の取組が書いてある。コロナ禍の中で実施できるものとできないものがある。実際どの部分できて、どの部分できてないか把握しているか。
商工労働課長	新型コロナウイルス感染症の影響が3月から始まっている。3月は1割程度の減少。4、5月は休館していたことで大きな影響が出ている。新たな取組は、まだこれからだが、新たなギフト商品の開発にはすでに取り組んでいる。あわせて飲食部門もお魚料理の充実に取り組んでいる。
布施委員	ゆうひパークは障がい者専用駐車場をトイレと物販の前に作っている。これはいろいろな要望があって国土交通省が障がい者専用の部分を普通の駐車場のから近いところでということで工事されたと思う。そのことは知っていると思うがだいたい何台分の確保をしているのか。
商工労働課長	台数の把握はしていないが、長雨等で工事が遅れている。当初7月末からお盆までには終る予定であったが、9月上旬くらいまでかかる見込である。
布施委員	浜田の玄関口なので、道の駅の経営状況には注目していきたい。コロナ禍の中で通行車両も減り、売り上げが一番期待できるお盆時期に影響が出ていると思う。これを苦にすることなく今できる取組をしっかりとやっていただきたい。
野藤委員	売り上げが伸びて黒字化して良い方向だと思う。販売管理費を下げるためにLEDといった省エネ機器を導入と言われたが、減価償却費は前期と当期で半分くらいになっているが何か除却したとかが原因か。
商工労働課長	売り上げ状況を見ながら減価償却しているので、特に理由があるものではない。
野藤委員	減価償却費で設備投資して、毎年同程度減るものだが、い

商工労働課長
野藤委員
笹田委員

きなり下がっていたので何かあったのかと思って聞いたのだが。

これまでも売り上げ状況に応じて減価償却をしている。

理解できないのでまた後で聞く。

コロナの関係で相当影響を受けていると思う。ゆうひパークの利用状況は把握しているか。

商工労働課長

3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が出始めている。3月は1割程度の減少だったが、4月になると時短営業やゴールデンウィーク中は臨時休業もしているので約6割程度の減少、5月も7割5分程度の減少。7月はある程度回復傾向がみられて3割程度の減少となっていたのだが8月は花火大会中止、お盆の帰省客の減少がある見込みをたてており半分減少となる見込みではと予想している。

笹田委員

国土交通省管轄であるが浜田市としてゆうひパーク浜田を盛り上げていく上で、コロナの関係で支援策はあるか。

商工労働課長

会社と話をしているが新型コロナウイルスの関係でセーフティネットの借り入れも順調にできているので、その辺をにらみながら引き続き相談していきたい。

串崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 漁業別水揚げについて (報告)

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

串崎委員長
道下委員

委員から質疑はあるか。

地元巻き網船のアジが不漁である。この中でわからないのが、地元巻き網のマアジの単価が低下しているのはなぜか。

水産振興課長

どんちっちの時期だが、今年は認定数が少ないことと、昨年に比べるとサイズが小さめのアジが取れたのが原因である。水揚げ量の減少は、前回の産業建設委員会で報告したが吉勝漁業が6月3日に網の破網により休漁して約1か月間操業できなかったため、漁自体が減ったことが要因。

道下委員
水産振興課長

どんちっちの脂質量が不十分だったということか。

脂質を測って10%以上のものをどんちっちとしてセリを行うが、その回数が少なかった。10%未満のアジが多かったことも原因。

道下委員

小さいサイズが増えてそれが金額に反映されて減少したのか。

水産振興課長
串崎委員長

そのとおりである。

他にあるか。

(「なし」という声あり)

(3) プレミアム付はまだ飲食・宿泊応援チケットの販売状況について（報告）

串崎委員長
観光交流課長

執行部から補足説明はあるか。
2点補足する。

（以下、資料をもとに説明）

販売冊数が8月6日（木）時点で1529冊となっている。また販売場所が昨日までのところで浜田ニューキャッスルホテルとゆうひパーク浜田を販売場所に追加している。

串崎委員長
布施委員

委員から質疑はあるか。

私もこのチケットを使わせてもらっている。資料に市民に好評とある。好評な原因はしまねプレミアム付きと比較すると県は2千円、浜田市は千円のプレミアムである。そのなかでも好評というのは聞いている。担当課として好評の原因を分析されているか。

観光交流課長

3点考えている。県のプレミアム券と比べて、購入したい時にすぐ買える。追加の販売場所の報告をしたが浜田ニューキャッスルホテルに行けば夜でも購入できる。2点目はバーやスナックには対応していないが浜田は対応している。3点目は島根県は1枚千円であるが浜田市は1枚500円券なのでテークアウトにも使いやすい。この3点が挙げられる。

布施委員

おっしゃる通りだと私も思うし聞いている。特にプレミアム金額ではなく使いやすさ。年配の方は千円券より500円券で、780円の定食を食べると500円券を2枚出してお釣りを受け取らないよりは、500円チケットで払って残りの280円を現金で払うという使いやすさが非常にある。この500円で発行してくれたことが高齢者にとっては非常に使いやすいという声をもらっている。先ほどの答弁でもあったが、すぐ購入できる。これも非常に対応がしやすい。島根と比較してはいけませんが申し込んで1週間くらいたつと山陰中央新報社の販売員さんが訪問されて現金決済しないともらえない。コロナ禍の中では応援チケットとしては非常にいいかと思う。さきほど2店舗追加されたが応援チケットの概要で(4)だが、154店舗、7月30日現在であるが市内の飲食・宿泊対象とした154店舗は、飲食における何%の参加率なのか。宿泊においては20あるとすると何%の参加率なのか。

観光交流課長

宿泊についてははっきり把握できていないが、飲食店については把握しづらい。事業をスタートする時に浜田保健所に飲食店数を確認したところだいたい300店ちょっとあったので、宿泊施設を含めると約半分はいかないとは思いますがそれでもかなりの数が参加していると思う。

布施委員

市民に好評なら、販売店舗も大事だが、参加店舗が増えることが大事である。少しでも参加店舗を増やすよう、広報して皆で浜田の経済を回すことを訴えていただきたい。どう思

観光交流課長

われるか。

加盟店については事業開始までに取りまとめ、説明会もしたが、その後随時加入可能である。先日も私がお店に案内したところ早速参加いただいた事例もあるので、委員が言われるように数の把握と件数を増やすよう引き続き取り組みたい。

川上委員

5千冊分については9月補正までの間、既存事業の経費を流用するとある。8、9月の2か月間は既存事業を止めて使うのか、それとも余っているものを使うのか。

観光交流課長

財政課とも協議し、コロナの支援策の中でも産業経済部の家賃補助から流用対応している。家賃補助については、飲食・宿泊応援チケット分はまだ予算内で流用対応可能なためこちらで対応している。

川上委員

家賃補助はまだそこまで至っていないということか。

商工労働課長

家賃補助については国の給付金申請などをにらみながら事業者も検討されているので、すぐに全員が使われるということではない。

野藤委員

皆言われるように、非常に市民にも好評だし、飲食を利用して売り上げにつながり、お店も喜んでおられる。換金のしやすさと、手数料がないのでキャッシュフローが良いと私は考えている。どのお店にどれだけ使われたかは把握されるのか。

観光交流課長

まだ事業が始まって間もないので、どの店でいくら換金されたかはこれからデータを取っていく段階である。今後、実績報告と併せて報告する。

野藤委員

非常に良いデータであり、今後の事業の参考になるのでデータは押さえてほしい。

串崎委員長

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

(4) 浜田市ふるさと体験村施設の指定管理者選定について (報告)

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

選定委員会の結果を掲載している。2者応募があり、結果として9人の審査員で審査した。900点満点で1人当たりの平均点を記載している。これを受け市としての選定結果として、選定基準点を上回るものがなかったことや内容や経営状況を勘案して選定すべきでない判断した。ガイドラインに沿って行った。令和4年4月から運営再開として再公募を実施したい。理由として今回新型コロナウイルス感染症の影響で現地見学を断念する業者もいたので再公募して可能性が期待できると判断したため。

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

- 川上委員
弥栄産業建設課長
川上委員
弥栄産業建設課長
川上委員
弥栄産業建設課長
川上委員
弥栄産業建設課長
布施委員
弥栄産業建設課長
布施委員
弥栄産業建設課長
弥栄産業建設課長
布施委員
弥栄産業建設課長
- 運営開始について何かもくろみがあるか。
コロナ禍の状況もあって1年延長し、コロナの状況を見極めながらやりたい。
コロナ禍が収束するとは考えにくい。収束しなかった場合はどうするのか。
コロナの影響は確かに否めない。本当に経過がどうなるかはわからないし可能性がある限りは一定期間を定めた上でチャレンジしたい。
チャレンジは良いが、チャレンジのベースは何か。
再公募でまた手が上がる可能性がある。そこを何とか。公募に至るまでの期間は様々な業者からのご意見、提案を幅広く受けていきたい。そういった中で可能性を探っていきたい。
長い時間をかけて指定管理者の導入を考えたが、手を挙げたのが2つ。これがだめで、次はどこを探すのか。もくろみがないと無理だと思う。これがどうもならなかったらどうするか考えてのことではないのか。
再公募の結果がだめだった場合、まだ市の方針が決まったわけではないが、今回の公募の時も申し上げたがそこがうまくいかないとなれば次のステップ、以前譲渡も含めという話をしたがそちらに進む方向にはなると思う。ただ、再公募についてはしっかり状況を見極めた上でやっていきたい。
弥栄にとって地域にとって大事な施設である。公募して応募したけど選外となった。前担当課長に聞いたがその時は選定委員会があって適正な判断があればその方にやってもらうということであったが駄目だった場合はどうするのかと聞いた時は、再公募という話はなかった。いつまでも置いていても、置くだけで費用がかかるから早く決断したいと言われた。再公募される場合、今回挙手した2者にチャレンジする権利があるのか。
今回選外となった2者の再応募は可能となっている。
点数まで出ているが、選定委員会がガイドラインで選定すべきでない判断された。点数でわからない部分もあると思う。選外と会長が判断したのは、何か大きな理由があったのか。
選定委員会の選定結果はいただいているが、最終的に選定の判断は市である。あくまで選定委員会の結果を参考に市が判断した流れ。選定委員会の内容については、応募の方の不利益につながる項目があるので回答は控える。
そこはクリアしないと、点数を満たしても選定されない場合もあると思う。何らかの原因があったと考える。
現地見学を断念する業者があったが複数あったのか。
実際断念されたのは県外の1者である。

- 布施委員
弥栄産業建設課長 含みを持たせたようなことだったか。
私の個人的感触では、全くゼロというわけではなさそうだった。
- 布施委員 現地見学して、自然的にはいいが再公募にあたって弥栄体験村全部の施設の指定管理をされるのか、それとも細分化されるのか。譲渡するにしても全部譲渡は難しいと思うが。指定管理者が決まれば一番いいが、決まるにしても2者でやってみようとか。バンガロー部分は販売して、体験村施設は指定管理にするとか。そういった考えがあるか。
- 弥栄産業建設課長 今回の公募内容の仕様を変更する予定はない。体験交流がメインであるが、ログハウス等一体的に使ってもらうのがベストだと現時点では判断している。そのため現状を変更せずに行う予定である。
- 笹田委員 指定管理者はやはり見つからなかったというのが正直な気持ちである。施設自体も今後使わなければどんどんだめになっていく。草刈り等もあるし。費用については今後どのようなのか。
- 弥栄産業建設課長 維持管理の部分で言うと、年間約140万円かかる。草刈り等の管理もしている。電気は止めている。ランニングコストがかかる。施設老朽化、使われないことで傷んでくる。本来なら指定管理者が決まっていれば施設改修を9月定例会議で提案できればと思っていたが、そういった経費も再開するに当たっては再度お願いすることになると思う。
- 笹田委員 年月が過ぎるほど費用がかさんでくると認識している。
コロナ禍の収束目途が立ってない。アフターコロナというよりウイズコロナのほうが現実的だと思っている。ここの決断は非常に大切であると考えている。令和4年4月に新たに指定管理者を迎えて施設運営していきたい思いは伝わったが、その後、見つからなかった場合も並行して示さないと、先ほど答弁されたとおり年間140万円の維持管理費もかかる、老朽化も進む。これがダメならどうしていくかも言わないと、この機会で見失ったので令和5年を目指す、令和6年を目指す、とならないか非常に危惧している。どうお考えか。
- 弥栄支所長 再公募後の対応についてだが、弥栄町にとっては必要な施設と認識している。コロナの影響もあり、最終的にはさらに別の利用を考えるために、今の時期から関係機関等々にアンテナを巡らせて対応を考えていきたい。
- 笹田委員 交流人口拡大も含め指定管理をお願いするとのことだが、今の状況で、人に来られたら困る方もたくさんおられる。ウイズコロナの中では人を呼ぶことも大変になる時期に差し掛かっている。改めて施設の利用方法も併せて検討する必要がある。どのようにお考えか。

弥栄支所長

具体的な考えは今お答えできないが、アフターコロナ、ウイズコロナも想定しながら、再公募の結果等も想定しながら対応をしなければいけないと思っている。

串崎委員長

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 有限会社ゆうひパーク三隅の経営状況について (報告)

串崎委員長

執行部から補足説明はあるか。

三隅産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

7月28日に第27期の株主総会が行われ承認された。営業利益段階で490万7212円のマイナス。これに営業外収益、前期損益を含めて補助金等充当後の当期純損失174万3228円のマイナスとなった。昨年度も赤字決算。昨年度の赤字決算を受けて9月から毎月石央商工会と一緒に経営状況や取り組み内容の確認を行い集客対策、レストランの新メニューの検討経費節減の対策を検討し実施したが最終的にはこのような結果となった。原因は新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛による入込客数の減少、年間で一番売り上げる時期のゴールデンウィーク期間中の休業が売り上げ減の大きな要因と考えている。令和元年度の決算において174万1703円の債務超過となったことから令和元年度に策定された第三セクター等に関する指針に基づき第三セクター等経営健全化方針を法人の合意と協力を得て今年度中に策定する。今回の債務超過を受けて取締役会、昨日8月6日有限会社ゆうひパーク三隅において臨時株主総会が開催され、令和3年3月31日をもって会社を解散する決議がされたことを報告する。今後の対応や次期の指定管理者導入スケジュールは早急に検討して8月17日の全員協議会において説明と報告をしたい。

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

布施委員

債務超過に陥るのは企業にとって赤字と異なり非常に危険信号だと思っていたが、会社を解散するとのことで非常に残念である。指定管理を再度公募するにすることも、ゆうひパーク三隅の立地条件、山陰自動車道が通り、年々努力はされたが国道9号線の通過台数減少もある。一時、JR西日本の瑞風の通過に合わせてゆうひパーク三隅から見られるということで注目された。鉄道ファン、景色を撮りたい人には絶好のスポットだと思う。そこを生かした取り組みについて前々回の委員の時に言った覚えがある。通行量に負けるのではなく良い所を生かそうと提案したことがあるが、なかなかそこは改善されなかった思いがある。指定管理に当たり、経営改善された部分でまた同じように影響してくると思う。今の規模をどう維持するか、支所として考えがあるか。

三隅産業建設課長

指定管理としては情報コーナーと地域特産品展示販売は、特産品展示販売センター設置条例に基づく指定管理として出しているので、そういうことを中心にして今後、指定管理を検討していきたい。レストランも集客部分ではあるが、コストも採算性が取れるように、指定管理の中でやっていただきたい思いはありながら、検討していきたい。

布施委員

三隅火電工事関係者も弁当をここに注文されたりする。工事があって1日当たりの人数も多く、そこを強化するなり、とりあえずキャッシュフローできて打開策ができるように、もう少し力を入れてやる、そして次のバトンタッチができるようにスムーズではないかもしれないが道筋をつけること、一般客には普通の道の駅と異なりバケーションとかロケーションとして良いものがあるので、特色ある施設存続を願っている。

三隅産業建設課長

貴重な意見と応援メッセージに感謝する。情報発信としてはFacebookや毎月ゆうひパークだよりを発行して広報に載せて回覧もしているが情報発信の部分が不足しているところもあったかと思う。中国電力の工事関係だが、コロナが発生する前には地域と一緒に昼休み用の定食を販売しに行っていたが、現在はコロナの影響で相手方から控えていただきたいとのことで今は休止している。そういったことも次期指定管理者の方にもつないでいきたい。

川上委員

累積債務はどのように解消されるのか。

三隅産業建設課長

債務は基本的に取締役の責任にはなろうかと思うが、市としても取締役を配置しているし、株も半数以上所有しているため、市の何らかの負担や影響は大きいものと考えている。

川上委員

減資の方向で処分して、最終的に残金部分で解散か。

三隅産業建設課長

一応そういう形ではあるが、今後の運営にもよるが、債務超過の負債額がどれくらいになるか、株主と相談しながら進めることになろうかと思う。

川上委員

債務超過分の財政的支援をむやみに行うべきでないのは事実である。かといって損失補填する必要もないかと思う。なぜなら市はすでに株を56%も保有しているから。減資でやれば投資分だけだと思う。固定資産はどうなるのか。

三隅産業建設課長

土地建物全て市の所有で、この会社自体の固定資産はほぼない、備品が少しあるのみである。

川上委員

備品等は売却になると思うがしっかり目を光らせて。来年3月末で廃止ということだがなるべく市民の負担にならないようにしていただきたい。

野藤委員

私もゆうひパーク三隅のレストランを結構利用している。非常にロケーションがいい。ただ、コンセプトが少しわかりにくい。道路ができたから減った、ではなくそこへ行く動機

づけが必要かと思う。同様の規模として道の駅瑞穂は産直系に特化してにぎわっている。三隅も変われると思う。海が近いのできさら多岐と比較すれば参考になるかもしれない。なぜ身近の成功事例からまねて実行することができないのか。中途半端にやるのではなく、特化した方が良いのかと思う。数字を見ると自販機は下がっている。コンビニが24時間営業しているので。数字に一喜一憂するのではなく。何か芯を決めて再生するのであればその方がいいのかと。建物が変わっているのをそれを活かしてもいいし。コンセプトが必要と思うのだが。

三隅産業建設課長

コンセプトと目的についてはおっしゃるように、浜田三隅道路が開通した関係で交通量が6割減って、4割が国道を通っている状況。年2回交通量調査もしており、ある程度把握している。最近落ち着いている状況である。目的部分で、中でも検討して、レストランでは昨年度イカ丼ができないかと検討して準備を進めていたのだが、イカが不良で原材料の仕入れができず断念した。先月から、アナゴ丼を三隅にもアナゴの加工業者がおり、ゆうひパークで販売をしているので、アナゴ丼を土日祝日限定で販売している。帰りにはアナゴを買って帰ってというボードをレストラン内に設置して事業展開している。

野藤委員

最初はコストがかかるかもしれないが、やってみる。食べ物系はInstagramやSNSで発信されるのですぐ結果が出る。ぜひいろいろチャレンジ、お金がないことも察するが、できることからやっていただきたい。

笹田委員

今回解散し、今後さらに厳しい状況が続くと予測する。三隅道路ができて、交通量が減った、西村から三隅までのちょうど中間にあって、下りてまでわざわざ寄らないというのが通る方の思いだろう。大田の仁方に大きな施設がつくっているが降りてすぐ、道の駅世羅も降りて休憩するための道の駅で利用しやすく、ああいう形ならまだ将来性が見込めただろうが、あそこでやっていくのは、コンセプトやターゲットを変えていく必要があるのではないかと。観光客相手ではなくて、地元に使っていただく。浜田市三隅町、益田の方に来ていただく仕掛けを作らないと。ターゲットをどこに置くかで生き残りが決まる。6割減はわかっている。車が通る見込みがないということ。地元の方が来る仕掛けを作れば、面白そうだから降りる人も出てくると思う。仕掛けを作らないと生き残りは難しい。何かしら地元の人が集まる仕掛けを考えないと。月に2回でも地元民が行ってみようと思える施設にならないと、あの立地条件では厳しい。そういう方向を考える必要があると思うがいかがか。

三隅産業建設課長	<p>おっしゃるように今までは観光客メインとして取組を進めていたが、浜田三隅道路が開通して交通量が減少する中では地元の方により一層使っていただく施設になる必要があると考える。昨年から毎月ゆうひパークに伺って商工会と一緒に検討する中、地元民を対象にした集客対策を考える中で、広くはないが裏に庭があって簡単なグランドゴルフが体験できるとか、白砂公民館と一緒にウオークラリーをしたり。イベント的な集客対策を検討している。</p>
笹田委員	<p>少しずつ取り組んでいるのでターゲットをもう少し切り替えて集まる仕掛けを考えないと、三隅の人だけで盛り上がるのではなく浜田、益田の人も呼ぶことで活性化していかないと、この数字は改善しないと思う。観光客が通ることがこれまでの調査でわかったとおりにないのでそこを期待してもダメなので施設がある以上は大きく転換する必要があると思う。検討していただき、地元の方が来られる仕掛けをもっと作るべきだと思う。</p>
串崎委員長	<p>その他にあるか。 (「なし」という声あり)</p>

(6) 令和2年7月13日・14日の豪雨による農林関係被害状況（報告）

串崎委員長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p>
農林振興課長	<p>(以下、資料をもとに説明)</p>
串崎委員長	<p>委員から質疑はあるか。</p>
飛野副委員長	<p>年度を超えて復旧する見込みとのことであった。この災害に伴って農産物・林産物の被害額と状況を聞きたい。</p>
農林振興課長	<p>7月の雨による農作物への大きな被害はないと確認しているが、今年度は春先から梅雨が長かったので特に西条柿や赤梨といった果樹は大きな被害が出ている。新聞報道もありご存知かと思うが。実質この雨による被害ではない。</p>
飛野副委員長	<p>農林業は今大変で、被害が出ると立ち直ることができない状況もある。梨の話柿の話もあった。農産物の被害もそうだし身体被害も含めて、農林振興課は常に頭においてやるべきだと思う。</p>
川上委員	<p>道路災害は災害査定用の設計費用が上げてあったが、農業関係は災害査定設計費用は見込まれていないのか。</p>
農林振興課長	<p>現行予算の中で設計費用が準備されているので、その中で対応できる。</p>
串崎委員長	<p>その他にあるか。 (「なし」という声あり)</p>

(7) 令和2年7月13日・14日の豪雨による被害状況

串崎委員長	<p>執行部から補足説明はあるか。</p>
-------	-----------------------

維持管理課長
串崎委員長
川上委員
維持管理課長

(以下、資料をもとに説明)

委員から質疑はあるか。

9千万円の対象路線の場所はどの辺か。

高佐町の浜田443号線で石央物流団地内の路線である。過去に災害でのり枠をされたと思われる場所であるがそこに変状が起こっている。現在調査中。通常の高雨災害であれば切り直してのり枠をするので9千万円には達しないと想定している。仮に地すべり要素が含まれていると工事工法が高額になるので9千万円として島根県に報告を上げている。

川上委員

あの付近は以前から都野津層との関係で滑りやすいことは重々わかっていると思う。十分対応してもらいたい。査定約1千万である。いつ頃を目途に査定を終わらせるのか。

維持管理課長

7月豪雨災害の査定についてはまだわからないが、通常の見積り状況であれば9月終わり頃までに7月豪雨の査定は行われると思う。

川上委員

1千万円とあるが先ほどの9千万円が追加されると1~2千万円あがると思うがどうなのか。

維持管理課長

6月の豪雨と7月豪雨を合わせたもので、9月定例会議で補正を上げようと思っている。この9千万は先週わかったばかりなので補正に含まれていない。補正額の測量設計額も余裕を持たせてもらっている中で、その中で何とか対応ができるのではと思う。本災については査定を進めていくうちに工事額も固まってくるので、9千万円の工事費がいくらになるか、査定で固まって、必要であればさらに12月補正をお願いしたいと思っている。

串崎委員長

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

(8) 雇用促進住宅金城団地の管理について

串崎委員長
建築住宅課長

執行部から補足説明はあるか。

経緯及び概要の中段に令和2年6月9日とあるが、6月8日の間違いである。修正をお願いする。

(以下、資料をもとに説明)

補足説明であるが、複数の部屋で無断同居している事実とあるがこれは金城団地貸付戸数26戸あり、無断同居が確認された戸数がその内23戸。金城団地とは別に内田団地も5戸貸し付けているが実際には2人しか入っておらずこちらは無断同居は確認できていない。今後の対応についてであるが、指定管理者から明渡し請求を行うことが記載してあるが、先立って市から口頭及びメールで全室、金城と内田を含むが明渡しの旨を通告して退去日は指定管理者と相手方の株式会社ライフトラストで協議していた。昨日指定管理者として8月31日の午

串崎委員長
川上委員

後5時までに入居者の退去完了、9月18日正午までに退去に伴う修繕完了が明記された明渡し請求を送付したと連絡があった。

委員から質疑はあるか。

以前から住民から市へ質問され十分わかっていると思う。今聞いたところ、8月31日まで。9月17日に確認をするとのことだが、その間今お住まいの方々は複数同居されている状況が続き、なおかつ途中で休みがあり、その方々がどこの人か知らないがあちこち帰省されたり、このコロナ禍の中でその状態がこのまま1月近く続くのだが、住民の方はどのように考えていると市は考えているか。

建築住宅課長

8月31日というのは一番最後の人が出てくださいという意味で、この日までに随時この間に新しい転居先が見つければ順次出ていかれると理解している。

地元の方が一番心配されているのは、すぐにお盆になり、地元へ帰ってコロナを持ってくることの心配であると思う。その辺も指定管理者を通じて相手方であるライフトラストに注意するよう、症状がある人は来ないよう指導したいと思っている。

川上委員

市に言うべきか指定管理者に言うべきかわからないが、指定管理者が本当に管理していると思えない。でありながら指定管理者とライフトラストの間で約束された。本当に実行されるかは不確実である。8月31日までに最後の方が退去するようお願いしている。途中で退去されるかもしれないが、途中で地元へ帰って再度戻ってくるかもしれない可能性があるのと、指定管理者は住民の方々に説明されているのか。

建築住宅課長

昨日の段階で明渡し請求が送付されて、私にも連絡があった。地元へも周知説明するように連絡・指導している。

川上委員

大変申しわけないが、信頼ができないから言っている。平成30年に起こった国府の問題を引き継ぎながら誓約書を取ってなおかつ違うことをしていたことを指定管理者は見過ぎていた。本来であれば入居月内に現地と実態を確認するのが指定管理者の仕事だと思うのだが、それもせず、なおかつ報告もなかった。事件が起きた際に指定管理者から市へ報告されたかわからないが恐らくなかっただろう。そういう指定管理者が本当にライフトラストと話をして確約し、実行されるのか。どういう形で退去するのか。

都市建設部長

川上委員のおっしゃることはごもっともである。平成30年の国府団地でもトラブルがあったと聞いている。今回、そういうことがあったから、うちも用心を重ねて対応してきたつもりだがこういう結果になった。市に監督責任があることは重々承知している。現場で我々も立ち会いながら、ポイント

川上委員

ポイントで指導しつつ、管理者に対応していく。言いつ放しにならないように対応していく。

市は確かにポイントごとに立会するかもしれないが、その前に指定管理者がすべきことをしないということが続いており今後も続く可能性は高い。なおかつお盆を挟んで入居者は帰ってくるかもしれない。その時にPCR検査もしていない何が起こるかわからないということを住民は一番心配している。どう対応されるのか。

都市建設部長

8月31日を最後に全員退去と伺っている。その中で転居される宿舎が見つければ随時出ていくと聞いており、その流れを逐次連絡いただくことになっている。地元住民が心配されることは、管理者にもライフトラストにも直接私からお話しして、お盆休みで帰られて、またこちらに帰ってくるのか、そういった方が帰るのか報告するようにお話しする。その中で地元が心配される点をきちんとお話しさせてもらい、対応について再度確認する。

川上委員

言いたくないが、現在駐車場に停まっているのは佐世保、山口、青森、和泉、20数台停まっている。その方々が帰ってきたら非常に不安である。どう住民に説明してどう対応するかと聞いている。本来なら違反しているのだから即退去で良い。以前聞いたところではお盆までに退去と聞いていたので安心していただけだが、それが8月31日を最後とするのは指定管理者の対応はぬるいと思うが。

都市建設部長

おっしゃるとおりで、管理者としてはきちんとされていないのは結果を見れば明らかである。私どもも監督責任はもちろんある。お盆休みを挟むことについて地元の方のご心配はおっしゃるとおりである。その辺を管理者はもちろんだが再度ライフトラストに話をして、地元が心配されている内容に答えていただく。地元の方は、一度帰省したらもう帰ってきてほしくないと思っていることをご説明する。相手があることなので、必ずとは申し上げられないが、連絡を取って答えてもらえるようお願いする。

川上委員

相手があることだと言われたが、住民も相手がある。住民からは納得いかない電話が入り、いろいろ言われる。それを思うと非常につらい。住民に心配をかけているのだから。作業している人ではない。今回指定管理者に改善勧告を出している。その答えも出ないうちに8月末と出された。市の執行部の方はしっかり動いていても、指定管理者が動いている様子は全くない。指定管理者が促進住宅内を動いて状況確認をしているところを見ていない。そう思うと指定管理者は何をしているのかと。今回都市建設部長が何とかしたいと言ったが、それを市ではなくて指定管理者が先にすべきことである。今

布施委員

週中でも動いていなければ動いていないと扱っても良いのでは。そこまで強く言う必要があると思う。ここでPCR検査により陽性が確認されたらアウトである。しっかり認識して指定管理者に指導してもらいたい。

指定管理者は障害があってこういう事実があって管理がぬるい結果になっているが、一番は株式会社ライフトラスト。4月に契約して3か月あまりで複数の、26戸中23戸、これを認めている会社自体、なぜこういうことをさせたのか、一番原因を追究するべきだと思う。結果に対して指定管理者が甘いというのはあるかもしれないが、一番いけないのは、中国電力の協力事業所の従業員確保のために雇用促進住宅を借り上げた。ルームシェアはだめだと誓約書を取りながらそれを破った会社自体が一番原因がある。なぜこんなことをやったのか聞き取りされているか。

建築住宅課長

私どももルームシェアはだめだと口頭でも文書にもあるが誓約書にも残し、相手方に確認して雇用促進住宅を貸した。雇用促進住宅に入るにあたり、入居は必ず1人、自分のところの従業員が1部屋という確約をしていた。相手方にいろいろ聞き取りしたところ、ライフトラストの社長自体もこういう状況を把握していなかったと回答している。

布施委員

把握していないということは管理責任が全然ないということである。私もアパート経営しているが、入居人の契約はいろいろあり違反した場合は違約金を払って、即退去ではなく、生活もあるので出ていただくのを最初に書いてある。コロナ禍だから心配は必要だが、お盆時期におけるコロナ禍の対応は国も県も、市は盆に関してのコロナ禍に対してのことは発表していないと思うが三密を避けた状態で、特に東京都等感染拡大している場所へのお盆帰省は遠慮するよう言っている。その中の対応をしなければいけない。

和泉、世田谷、長崎、広島といったナンバーがあるが、対応しているかはわからないがコンビニでもそういう乗用車が多い。雇用促進住宅はあくまでも全国から従業員が来るので県外ナンバーがあるかもしれないが、そういうことを認めて把握さえしていない会社自体を責めるべきで、傷害事件を起こしているのだから。そういう従業員がいるのだから。その上での雇用促進住宅の管理はどうなっているのか、そこを追従してやるべきである。雇用促進住宅の管理が悪いからルームシェアが起きていると言われたが、私が反対に、こういう会社が社長さえ把握していないからこういうことが起きている。それがたまたま雇用促進住宅で三隅火電のことで借り上げ社宅にしたからこういう事件が発覚したと思っている。そこをしっかりとやっていただきたい。中国電力の会社にもそう

建築住宅課長
布施委員

いう下請けがあるのでとは確認していただきたい。

雇用促進住宅、表面化した但他的会社の借り上げ社宅があるのでは。そういう事実も確認していないか。

借り上げ社宅は他住宅にはない。

ないのであれば、個人としてもルームシェアはいけないのだから、1件ずつ調査するべき。それは指定管理者がするべきである。事実確認をして報告してもらいたい。

笹田委員

これは市も被害者的な印象を受ける。火電工事の関係で宿舎がないと言えは貸して、工事を滞りなく進める協力も必要である。その中で信頼関係の下で浜田市は貸したと思う。しかしこの結果になったのは事実で、対応をどうするかが課題である。まず住まれている人の不利益にならないよう最善を尽くす。今後このようなケースが起こったら市はどう対応するのか。今回、会社から依頼があったとのことだが、今後火電の関係で会社の調整は難しいと思うが今後の対応はどのようにされるのか。

建築住宅課長

私どもも誓約書を取る段階で、他の入居者の方を第一に考えて迷惑にならないように誓約書をあえて取って指定管理者にも写しを渡した状況である。

今後は、法人による雇用促進住宅の利用は認めているので、ケースバイケースで判断するしかないのかと。ライフトラストから貸してほしいと言われれば当然断るが、実際に国府団地に8月3日から15戸、内田団地は8月3日から10戸入らせてほしいと要請があったがそれはすぐ断った。他の会社についてはケースバイケースで、都度他部署とも相談しながら判断させていただければと思う。

串崎委員長

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

(9) その他

串崎委員長

その他、執行部から何かあるか。「令和元年度 全国のふるさと納税の状況」について、ふるさと寄附推進室長。

ふるさと寄附室長

資料はないが、昨日の新聞報道で総務省から全国の令和元年度の状況が発表された。浜田市の昨年度のふるさと寄附の状況は5月25日の産業建設委員会で報告しているが、全国の結果がでたので浜田市ランキングを報告する。全国1741市区町村中、66位になった。前年度59位なので7つ下がった。中国地方では全国55位の米子市が1位。浜田市が前年と同じで2位。全国的には一部自治体に集中していたものが分散された傾向がある。浜田市は寄附を増やすに至っていない状況。他の自治体が取組を強化して競争が激しくなっているが引き続き取り組んでいきたい。

串崎委員長
川上委員
ふるさと寄附室長
串崎委員長

この件について委員から質疑はあるか。

7月分を教えてください。

7月の寄付額が4931万1000円である。

この件について他にあるか。

(「なし」という声あり)

では執行部から他には。

「山陰浜田港公設市場の整備スケジュールについて」について、水産振興課副参事。

(以下、資料をもとに説明)

水産振興課副参事
串崎委員長
川上委員

この件について委員から質疑はあるか。

仲買事業者の売り上げ急減により経営逼迫し、移転しにくいとはどういう状況なのか。

水産振興課副参事

コロナの影響により4、5月の売り上げが5割以上減った事業所が半分以上おられ、移転は厳しいというご意見を頂戴し、この間調整した。急激に売り上げが戻ったわけではないが、何とかオープン時期についてはご了解をいただいた。

川上委員

移転したくないとか、移転するなら廃業するという仲買業者はいなかったか。

水産振興課副参事

12業者は皆さん一緒に移っていただくことで賛同いただいている。そのため反対はなかったと認識している。

川上委員

12業者個々にうかがったか。

水産振興課副参事

説明会には11業者の出席で1業者が欠席の状況で説明し、皆さんにご了解、賛同いただいた。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

以上で執行部の報告事項は終わった。8月17日に開催される全員協議会へ提出して説明とすべきものを決定したい。執行部の意向を確認する。

商工労働課長

ゆうひパーク浜田の補足答弁を先にさせていただく。

入込客数の関係でレジ通過人数及び自動販売機でカウントしている。自動販売機は1本1人でカウントしている。ただ、すべての自販機がゆうひパーク浜田の直営管理ではなく3割のみが直営分でその他はベンダーの管理のものであるので実人数はもう少し多いと想定される。

営業外費用増加の要因であるが支払利息の増加、クレジット手数料の増加である。

全員協議会に報告する議題だが、4番浜田市ふるさと体験村施設の指定管理者選定について、5番ゆうひパーク三隅は解散ということもあったので議題が変わるかもしれないが、ゆうひパーク三隅の経営状況について、8番雇用促進住宅金城団地の管理について、以上3点である。

串崎委員長

執行部の意向が示されたが、委員から意見があるか。

(「なし」という声あり)

では執行部の意向のとおりとする。

2. その他

串崎委員長

その他、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から執行部に何かあるか。

川上委員

昨今、金城ではクマ出没が非常に多い。対策はお考えか。

農林振興課長

昨年に比べ今年にはクマの出没が多い。出没の実数は手元にないが、平成28年にクマ大量出没があったがあの年並みに出没と捕獲の状況である。特徴としては金城での目撃が多い。あとは三隅での目撃が多い。この状況の中で平成28、29年に人身被害があったが人身被害が発生してはならない。8月6日に関係者である島根県、浜田市、猟友会、各支所産業建設課、学校教育課、防災安全課、島根県警で集まって、クマ目撃時の対応を協議し、目撃状況があればしっかりパトロールを実施、広報活動等の協力体制を取ろうという確認。抜本的対策はとれないかということであったが、市として放任果樹の伐採等、話をさせていただいた。

川上委員

昨日6日の会議の報告を見せてもらいたい。放任果樹の除去についての費用的なものを考えるとされたが、これは市がやるのか県か。

農林振興課長

この補助事業は市の単独事業として令和3年度からできるよう内部検討している段階である。

川上委員

猟友会はあくまで任意団体である。任意団体に対して負荷を与えることはしてほしくないと思う。獣が出てきた。猟友会が対応。ではなくて、猟友会はあくまで指示するものであって、やるべきことは市、県、特に県がやるべきである。市は県へ投げないで、県と一体になって何とか対応してほしい。あと、民家の周りに出たものは殺処分する。個体が残るが埋める場所がなくなって、以前埋めたものがまた出ている状況が起きているらしい、金城では。深く掘って埋められるよう、重機の配置をぜひ検討していただきたいのだが。

農林振興課長

猟友会についてだが、島根県と島根県猟友会とは、クマ捕獲等の委託契約を結んでいる。イノシシ等の捕獲檻に誤ってクマが捕獲されるケースや、有害捕獲するケースがある。猟友会の方に県として協力を求める契約をしているので、その中の行為として猟友会の方に参加してもらおう。

また別の形として、浜田市では有害鳥獣の対策実施隊というのを指定している。これは各実施体に6名のハンターをお願いをしているが、猟友会で選抜してもらいその方に実施体として活動してもらっている。この実施体の方々にクマの捕獲

檻の管理等、協力を求めている。捕獲活動等を行うのはハンターでないと対応できない。猟友会に負担をかけているのではなく市・県・猟友会の協力のもと捕獲や追い払いの活動を実施しているのご理解いただきたい。

殺処分した個体の処分についていろいろな課題はある。抜本的な対策で何ができるか島根県も含めて検討中だが、当面、江津にあるエコクリーンセンターに搬入することも含めて対応したいと内部検討している。

川上委員

殺処分したものはエコクリーンセンターで受入れということも検討すると聞いて1つ安心したが、もしかして50センチ以下にしなければならないということが出てくるかどうか、しっかり確認しておいてほしい。殺処分に当たって細かくする必要はないと思うので。

もう1点、個体について、胃や肝臓や下あごなどを県が取って帰るが、これまでの記録が出てこなかったと聞いている。何を食べていたとか、年齢がわからない。それらも報告があると良いのだがと市民が言っていた。それも県にお話いただきたい。お願いできるか。

農林振興課長

エコクリーンセンターへの搬入は基本的に50センチ以下だが、改めて処分について協議している。受け入れとして若干超えても可能な範囲であると聞いている。今後詳しい内容については施設管理者と十分協議し、できるだけ搬入しやすい形にしたいと思っている。

殺処分した個体の研究結果だが、この内容は島根県の中山間研究センターで毎年分析している。年間活動報告書に取りまとめて報告書は公開されている。具体的に、捕獲に参加した猟友会なり自治体への説明がなかったということで、島根県にも先日改めて、状況を地元への説明会をお願いした。県も、今後開催を検討していただけることになった。またそれについては地元あるいは猟友会の方と一緒に話を聞きたい。

串崎委員長

以上で終了したい。

それでは、議題3に該当のない執行部はここで退席されて構わない。意見交換は1時間程度を予定している。5分ほど暫時休憩する。

《 執行部退席 》

[11時 45分 休憩]

[11時 51分 再開]

串崎委員長

会議を再開する。

3. 意見交換

(1) 浜田漁港エリア周辺の活性化への執行部の取組状況や方針について

串崎委員長

各常任委員会では政策討論会をするように議長から申し出があった。産業建設委員会では12月頃までに提言を予定している。今、山陰浜田港公設市場や高度衛生管理型荷捌所もあり浜田漁港周辺エリア活性化について勉強し提言できればと委員間で話をしたところである。山陰浜田港公設市場は指定管理者が決定し今後期待するところであるが、本施設のみでは市民や集客に期待が薄いと委員間で討論したところである。討論の内容は資料にて配付しており、これまでの経過や今後の取組について、執行部に確認や意見交換を行う必要があると判断した。その前に、農林振興課長から。

農林振興課長

農作物被害について被害ないと回答したが、内田町のハウス8棟に浸水被害があり、今現在の直接的な農作物被害はないが、今後出荷する農作物に被害が出る可能性があるという事案が1件あったので、そのことだけ訂正させていただく。

串崎委員長

続いて商工労働課長。

商工労働課長

身体障がい者の駐車場台数だが、今3台あって追加で2台が現在整備中で、合計5台になると聞いている。

布施委員

障がい者の方の車は大型化しているので、面積的に広いと思ったのだがそういう理解で良いか。

商工労働課長

ご指摘のとおりである。

串崎委員長

意見交換会に入る。具体的な項目については、お配りしている資料のとおりである。

こちらでは順次執行部から報告をいただき、委員から確認をする。

産業経済部長

「産業経済部内への漁港エリア周辺活性化へむけたプロジェクトチームの設立する必要性の認識について」は、これまでも、浜田漁港周辺エリア活性化計画を策定する中で、部内の各課長が必要に応じて一緒になって検討してきたし、検討委員会にも出席して協議してきた。この計画を推進する取組の実施体制も、これまでの検討委員会と同様の体制で進めこととしているので、浜田市としても産業経済部の各課長が一緒となって推進していく覚悟である。

誰が中心となるかについては、現在の水産振興課に、昨年も今年も課長2名体制で、その1名が漁港活性化の担当課長として、まさに荷捌所と公設仲買市場を特命で担当している。その戸津川副参事が中心となって、公設仲買売場について産業経済部の各課長それぞれと話をしながら推進している。プロジェクトチームの設立と必要性と言われたら、それがまさに産業経済部内のプロジェクトチームと考えているので、引き続き、この体制で推進していきたい。

串崎委員長
布施委員

また、バスの乗り入れについては地域政策部と協議をしている。今後とも随時、産業経済部以外の部課からも担当者に入っていただき、協議していきたいと考えている。

今の説明について質疑はあるか。

産業建設委員会は政策提言に向けて、提言ができなくても基幹産業である浜田の漁業の、大きな部分を山陰浜田港公設市場整備や高度管理衛生型荷捌所ができたことによって周辺整備は浜田市の浮沈にかかっている。戸津川副参事も頑張っているが、浜田市として力を入れていくという強いメッセージが内外的に必要ではないかと思う。産業建設委員会で笹田委員がそういったところを前面に出すことで、コロナ禍で沈むのではなく浜田は漁業で頑張る、全市一体で頑張るメッセージを出すため、プロジェクトチームの名前があればインパクトが強いと思う。現状ではできているのかもしれないがいろいろな課が関わり副参事が中心でいいが正式名称を、浜田市としてこれだけ強い思いで横断的に課を超えてやる姿勢を出すためにも、プロジェクトチームを作り取り組んでもらいたい。賛成の意味でプロジェクトチームを作るべきと思うがそれについて。

産業経済部長

産業経済部内でのプロジェクトチームの立ち上げは、私の権限で実施できるので、早速に進めたい。

布施委員

部長、横断的に、浜田市民、今までのお魚センターとは違うという、観光客も利用してもらいたい、浜田市民が利用しやすい山陰浜田港公設市場として利用いただきたいというメッセージを、市民に訴えるためには、横断的に部を超えたプロジェクトチームを作っていたいただきたいのだが。

産業経済部長

部を超えた設立となると、私がここで返答はできない。市全体の横断的な話になるので、市長とも相談した上で、立ち上げについて考えていきたい。

布施委員

オープンも延期となった。時間があるからできるのではなく、チャンスができた。これでもかという政策を出して市民に訴える準備段階でチャンスができた。チャンスをもたらしたという意味合いで来年3月に向けてさらに前進するために部を超えてプロジェクトチームを産業経済部長からでも産業建設委員長も同行して取り組んでいただきたい。

笹田委員

水産振興課では仲買人に移転してもらおうとか、指定管理者と協議して山陰浜田港公設市場を何とかしよう頑張っておられる。先日から報告を聞いてもその後のことが見えない。追従する民間の力が必要になる。今のうちから全市で取り組み、周辺エリアを活性化するという思いとか気持ちを知っていかないと、前と同じ形で終わることを危惧している。施設が新しくなったからと言って急に物事が変わるわけではない

のでプロジェクトチームを市全体で作し、全員が共有して取り組んでもらいたい。産業経済部長からも市長と協議するとの話であったが今回いろいろ問題がある中でここを買い取って進めることは市も決定して議会も承認している。一緒に活性化する力が必要である。市だけでは限界があるのでJF、JA、民間の方々にどうにか利用してもらって、人が集まる仕組みを市民と一緒に考えていく必要がある。先頭に立つのは市だと思うのでぜひ強い形でプロジェクトチームを立ち上げていただきたい。

串崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

これについては、産業経済部長から市長に早急に言っていただき、立ち上げていただきたい。私の希望は立ち上げて検討したら当委員会と情報交換をさせていただければと思うので早急な対応をお願いしたい。

水産振興課副参事

次に、農産物を扱う産直市について

現在、山陰浜田港公設市場の改修工事については、毎週水曜日に定例の工程会議をしており、指定管理者の第一ビルサービスにも参加いただいて、主にハード面のご意見をいただいている。コロナの影響で遅れているところもあるが、先般第一ビルサービスからは、今後は施設の事業内容、ソフト面についてしっかり協議していきたいと改めてご意見をいただいた。直営で物販をされるため、地元産を扱って営業したいと言っておられた。

委員会より農産物を扱う産直市について、どうなのかというご意見をいただいているが、旧お魚センターで扱っていた量以上を取り扱ってもらうには、協議が必要である。指定管理者からは、現時点では同程度のご意見をいただいているが、担当課としては、それでは足りないのではないかと伝えている。今後、JAにも営業活動をされると思うので、その際には、農林振興課長にも間に入って協力をしてもらう。第一ビルの計画書には三島ファームとの連携も取るとあったので三島ファームの農産品も扱ってもらえるのではと思っている。施設の中ではそういった農産品を取り扱っていきたい。

串崎委員長
布施委員

今の説明について質疑はあるか。

第一ビルサービスとは直営物販については今後話をしていくとのこと、それは民間がされることなのでここでは言わないが、考え方として、全国の地元特産品産直市が、鮮魚にしても農産品にしても生花にしても直接できなければ周辺エリアに集客のために付随する施設がある。山陰浜田港公設市場の中に直接入れとは言わないがJAの今の意向として、にぎわい創出の担い手の1つとしてJAが黒川町のきんさい市場、

周布にもある。浜田自治区にもJAの直接販売市場もある。漁港に民間施設であるやなぎ水産が土曜日曜日で農産物を取り扱っているが、あの店も当初は市民に告知できず長いこと苦勞して今の地位を確立されている。それは水産物に限らず農産物があればこそ、生活必需品も少しあればこそ今の繁榮の物販だと思う。浜田港公設市場のにぎわい創出の中で、直接される第一ビルサービスは経営努力をされると思うが、それ以上にJAの意向を聞いて、周辺に出店なりできないか。それを聞いてほしいと思っている。三島ファームのことはわかった。担当課長はJAに話ができるのか。

農林振興課長

私がJAと話をしている。漁港エリア活性化計画策定の際に、JAに協力をお願いをしているが、今回改めてあのエリアでの出店について話をした。

JAの認識では、産直そのものの事業が頭打ちになっている状況の認識。1点目は市内スーパーが産直コーナーを充実させてきた。市内購買層のキャパを考えても、この市場がどんどん広がっていくことは難しいのではという認識を持っておられる。もう1つは、生産者の方。地元スーパーがしているということで産直はJAしかなかったがスーパーに直接持ち込まれる方も増えているようで、農産物の調達そのものも頭打ち状態であり、現時点で新たな産直店を漁港エリアに持って直営するのは難しいと判断されている。ただ、JAとしても将来的に産直市場を大きく育てたい思いは持っているので協力はする。今後の第一ビルサービスからの提案であったり中身を見て、可能な範囲でやっていきたい考えのようである。

市も、仮に建物を準備したり、出荷の際の手数料に市の支援を入れる方法もあり得るという話をしたが、現時点ではJA直営での運営は厳しい状況であると。JAでは以前から立地条件等考えて黒川店の拡大の意向はあるが、実現できていない中、新たな店舗は難しい。

布施委員

生産者の調達が難しくなっているのも、私は反対に、まだあるのではないかと思っていたのだが、今の話を聞くとそこでは難しいかと思う。JAが直接やらなくても、ゆうひパーク浜田、五地想が当初できたときに5自治区の五地想物語ということでゆうひパークが取り組んだ。農産物を扱うのに、浜田の農産物は新鮮で安くておいしいと思っている。五地想物語の復活で、JAが直接やらなくても毎週各自自治区の農産物を直接扱う場を周辺エリアに、館をどうするかわからないがトラック市など考えることによって、産直市は全市に声掛けすればできるのではないかと思っている。誰が主体となるかは置いて、JAができないなら市として音頭を取って、各地区のものを出していただいて、周辺エリア活性化ができるの

商工労働課長

ではないか。

BUY浜田運動で地産地消、地元産品や店舗で購入しようということをやっている。当初商工労働課でもあそこで昼市を計画はしていたのだが、この状況なので話が進んでいない。そこも絡めながら検討していきたい。

農林振興課長

JAもそういうスポット的な形での協力は考えていくとの話をもらっている。現に広島の団地でトラック市を開いている実績もあるので、そういった形での協力はお願いできると思う。他部署とも連携したい。

布施委員

スポット的なものも利用して、生産者の方に波及して、トラック市、週末市に広がって皆で盛り上げることが大事だと思う。ぜひ推進していただきたい。

飛野副委員長

漁港エリア活性化というのは、今までお魚センターをずっとされていて、結果的にうまくいかなかった。今回生まれ変わってきちんとしようとしている。その時考えるべきことは魚だけではだめであると。浜田市民がまず漁港エリアに行く仕組みを作らないことには、結果が同じになってもおかしくないと考えている。

これまでお魚センターの協議において農産品の話をしてきた。先ほどJAの話が出たが、それを聞くと非常に足が重く、積極的な姿勢が見えない。そうであれば浜田の市民が本当に出入りするのかわ。余談であるが今、キヌヤが方々に進出している。地元に着した野菜をはじめしっかり扱っている。経営者の考え方が違うなど考えている。産直市等の誘致ということでやなぎ水産の話が出たが、JAの動きが重いならやなぎ水産はノウハウと持っていて鋭い動きを持っている。漁港エリアに市民が来るためには、魚だけでなく農産品や林産品を集めたものをするので、ひいては県外からも来るようにしていただきたい。

水産振興課副参事

活性化計画にも記載しているが、山陰浜田港公設市場は、市民の方に親しまれ、また観光客にも訪れていただくにぎわい施設にすることを念頭に挙げているので、ここを核に発展的な形で多くの方に訪れていただきたい。

以前は、鮮魚を扱う所が少なかったもので、魚を売る仲買の方にしっかり魚を売っていただき、これまで以上に魚を売っていくことがメインになると思うので、魚を中心に、またそれだけでは、十分でないので、農産品も扱って、にぎわいを広げる必要がある。計画のコンセプトにも掲げているので、これらを中心にやっていき、総合的に取り組んでいきたい。

飛野副委員長

そういう仕組みを作ることで生産者もお客として行く。この人口は大きい。それもしっかり頭に入れていただきたい。

布施委員

漁港活性化エリアを全国視察され、農産物もあわせて青果

水産振興課副参事

も見られたと思うが、浜田と先進地の取組は何が一番違うか。浜田に何が一番足りない部分がわかったのか。

旧お魚センターの各店舗は加工品屋が中心で、鮮魚2店あったが高かった。安くて新鮮な魚をたくさん扱っていることが重要である。愛媛県の八幡浜の市場に行ったが鮮魚がたくさんあるというのが売りになっていると感じた。魚だけでなく特産品もある。それが魅力になる。魅力あるものを取り扱うことが必要。

布施委員

そのとおりであるが一つ足りない。商品もだが、人柄。売り手と買い手のコミュニケーションが取れるかどうか。都会と同じような、商業チェーンと同じような縦割りの言葉で接客されると、女性が結構言うのが、商品は安いけど冷たいと。あの人がいるから行こうと、第一ビルサービスのいろいろな人にその辺を強調して教育までとは言わないが、それが大事だというのは改めてわかっていただきたい。ましてや、普段では言われなような言葉に魅力を感じる。安く、新鮮、たくさん、プラス、商売におけるコミュニケーションができることを大事にしていきたい。

水産振興課副参事

コミュニケーションを持つことは、魅力の一つだと思う。佐賀県唐津市の呼子の朝市にも行ったが、店の方に気軽に声をかけてもらった。親近感を持っていただく販売や買っていただくやりとりが必要なのかと思う。仲買の方はなかなか難しいかもしれないが、第一ビルサービスにしっかり音頭を取っていただき、雰囲気のある接客ができるようにやっていきたい。

産業経済部長

布施委員のお話ですが、私も何度か議会答弁をしたことがある。浜田市内の商店街が衰退した一番大きな原因は、魚屋、八百屋、肉屋がそろって日々買い物する商店がなくなったことで、それを取り戻したい気持ちがある。布施議員のご意見も第一ビルサービスや仲買さんに理解して取り組んでいただきたい。私も商店街育ちで仲買さんには私が子どもの頃から行っている魚屋さんもおられる、そういったところを理解いただき活気あるお魚市場にしてもらいたい。

笹田委員

農林振興課長から、農産物が頭打ちになって前向きではないという話があったが、それは市に覚悟がないのだろうと思う。あそこを活性化させるのであれば黒川も周布も移転して強い気持ちを持って、建物を建てるからぜひ移ってくれという気持ちでやらないとどうですかという気持ちであれば動かないと思う。

課長が、新鮮な魚をメインで売りたいという話だったが、今は仲買人の商売体系が昼で終わってしまう。あそこにもっと活気があれば昼以降もやる施設が出るかもしれないし、昼

産業経済部長

以降に開いてないとなれば、風評でいつ開いているかわからないよと波及する可能性がある。

新しい施設は市民にも観光客にも利用いただく形を目指してどっちつかずになるのが一番良くない。コロナ禍で観光は難しい状況になったが、市民が集う場所を最初に考えるべきではと考える。このままだと市民は最初だけ行って、産直市も周りのスーパーが頑張っているので結局キヌヤやイズミに行く結果しか見えない。地元の方で農産品だけでなく肉や、まる姫ポーク、石見牛など近隣市の特産品まで波及させて市民に来ていただく形でないと、良いものを建てたけどまた人が来ないというように見えるから、今こういう話をしている。

しっかり市の全体の計画の中で、それをやっていただきたいという強い気持ちでチャレンジしないと話はしたけど、前向きな声が聞こえないのは強い気持ちが不足しているからだと思う。本当に市民に来ていただきたいと考えているのかと疑わしいレベルの話だと感じた。

コロナ禍で不安の中、3月オープンで市民に来ていただける毎日買い物をしてくれるビジョンを描かないと何も始まらない。もう少し議会からの要望・期待をもう一度協議していただき、あそこの活性化ビジョンを描いていただきたいのだが。

第一ビルサービスが示しているコンセプトについて、これは市の考えと同じだが、「まず、地元利用者は浜田市をメインに、そして観光施設として県外旅行者は広島圏域をメインに想定している。

地元からどれくらい来るのかについては、山陰浜田港公設市場中心にした商圈や人口分布から1キロ圏内にコンビニ、ドラッグストア、スーパーが多数ある中で、お客を呼ぶには、コンビニ等で販売している一般日用品以外を中心に品揃えして、地元向けには市内に約2万人おられる50代から70代をターゲットにした店舗づくり、商品の配置や取扱いをする。」ことを考えておられる。まずは、指定管理事業者のこういったコンセプトを中心に進めてもらいたい。第一ビルサービスのキャッチフレーズは「ここにしかないとびっきりいいもの」である。浜田の一押し商品を海・農産物と広く考えて「新鮮さ、地産地消、希少性、浜田港ならではの商品」というポイントで検討されておられる。

敷地内に、更にここ以外の店を、オープンと同時に構えることについては、現状では難しいと考えている。新たな公設仲買市場の集客などの状況を踏まえ、そこに手を挙げてくれるところがあれば一番良いと思う。まずは週末イベントや四季折々のイベントについて、自治区の皆さんにも協力してもらい、トラック市、BUY浜田運動、産直市等の取組によっ

笹田委員

て集客していく。そして、日々地元の皆さんに来ていただける形になるよう進めていきたい。

先ほどのプロジェクトチームの話もあるので、皆さんの意見を聞きながら、来年3月オープンに向け取り組んでいく。また、議員の皆さんのお知恵をお借りしたい。

週末を各自治区含め盛り上げたいという話があったが、それは旧お魚センターでずっとやってきたことである。お金をかけたりダブダブに協力を得て農産品を入れて。それでもだめだった。繰り返すと思う。単独イベントでは成功しなかった。当時の部長の必死な姿も見たがそれでもうまくいかなかった。人が集まらなかった。一時人が集まったが下降した。3月から同時には難しいかもしれないが、並列で考えていかないと、手が上がればすぐ入れるように。もう少しPRかけて入ってもらおう努力をする。相乗効果がないとあの施設が生まれかわらないというのが議会の思い。今の話を聞いていてもイベントや他機関の協力はこれまでやってきたことと同じである。疑問に思っている。それプラス何かを考えないということで我々が意見をしていることを考えていただきたい。

串崎委員長

他には。

(「なし」という声あり)

魚だけであれば今までどおりである。周辺エリアの活性化ということで笹田委員が言ったとおりに隣にプレハブといった建物を作り、農協の産直市を呼びこむといったことを積極的にしていただきたいと私も思っているのでご検討をお願いします。

陸上養殖の進捗状況について。

水産振興課長

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長

この件について質疑は。

笹田委員

コロナで大変だと答弁されたが、今後のスケジュールは全く見通しが立たないのか。

水産振興課長

スケジュールもなるべく早くとお願ひしているが、状況が状況なので、相手方からもはっきりお示しいただけていない。定期的に担当部長とは連絡と取っている。

産業経済部長

もしこの事業が順調に進むことになると、当然、浜田市も予算措置が必要となる。新型コロナなどのいろいろな事情はあるが、浜田市としても予算措置のタイミングに間に合うように、検討の進捗を要望していく。

布施委員

マルハニチロの進捗はよくわかった。陸上養殖について私一つ思うことがある。採算性とかもあるかと思うが中山間地域で耕作放棄地の問題がある。農産物を作るのが耕作放棄地の解決であるとは思っていない。企業の参入、転用の問題があるが岡山理科大学の好適環境水。市に先生を呼んで漁業関

- 係者を石央文化ホールの2階で研修会を行った。その時は単価や量の問題があったが、あれからBSにも出演されて養殖に関して研究が進んでいるいろいろな挑戦されている。中山間地域における、使われていない農地、空き地の部分を養殖に、甲殻類も含めて養殖を考えられないか。挑戦している市町村もある。県の土地を有効活用するにはマルハニチロの知恵やいろいろな使わないといけないのはわかるが、それ以外の挑戦として。市全体として一歩進んだ考えが必要では。
- 水産振興課長 水産資源も枯渇していて、養殖事業を国も推進している。データの的にも海面漁業の水揚げ量より養殖が追い越している状況でデータもある。
- 中山間地域で環境水を使った養殖事業を議員も行政も視察に行っている。いろいろと課題があった。まだ商業ベースではなく研究段階なので、もう少し様子見という状況であった。養殖事業というのは新しい水産資源の種別拡大等につながる。販路先のことも含めて具体的な養殖事業の効果、いろいろなパターンを考えないといけない。また研究させていただきたい。
- 布施委員 ぜひ研究して取り組んでもらいたい。量ではなく特化した魚種や全国にないものを。チョウザメや温泉水の活用もある。全国に事例があまりないものを。量も必要かもしれないが特化したものを研究して、ここしかないものを作っていただきたい。そうすれば違った意味で注目される。そのため基礎が必要で研究してもらいたい。
- 道下委員 マルハさんからやりたいことの提案があるのは結構だが、浜田市からも提案する仕掛けをやる。待っているのではなく。ぜひこの事業を成功に導いていただきたい。
- 産業経済部長 お気持ちは大変よくわかる。我々も出来ることはやっている。しかし、新型コロナの影響で東京は止まっている。会社に出社できずに自宅で仕事をされていて、会うことも出来ず、メールと電話だけで連絡を取っている。先方にはそうした大変な状況の中、善処いただきながら検討をしていただいている。そういったことをご理解いただきたい。
- 串崎委員長 他にあるか。
- (「なし」という声あり)
- 陸上養殖、瀬戸ヶ島は何十年の案件で難しいことは理解する。周辺活性化ということなので、だめなら周辺にホテルを建てるとか他の形を考えるべきではなかろうか。おそらく無理だと思うので個人的にお願いしておく。
- 続いてイベントスペースの整備と開催について。水産振興課副参事。

水産振興課副参事

(以下、資料をもとに説明)

山陰浜田港公設市場の1階の商業棟の中に多目的利用エリアということでイベントや体験、情報発信などを通じた浜田の魚を知ってもらえるエリアを設けようということで施設のエリア設定をしている。そういった中で指定管理者の第一ビルサービスでは常設でこういったイベントができるコーナーをおくことは困難であるとのことで定期的にイベントをする広場を状況に応じて作るということで対応すると考えられている。広さは具体的にはないのだがそういった考えのもとでイベント等に対応をしたいということである

野藤委員

今の説明は建物内なので質問の趣旨は周辺エリアで公設市場を核としてイベントであったりフリースペース、土日祝日には農産品や水産加工品を持って来たり、パンを焼いて持って来たり、そういうスペースと認識している。そういう場所の設定。指定管理者と連携を取りながらやらないといけない。

水産振興課副参事

以前から委員会でもそういう意見をいただいている。まずは山陰浜田港公設市場でイベントするにあたってはどう考えているかをお答えした。施設の中と周辺にイベントができる簡易テントを設置して以前のお魚センターでも対応したが、そういったことでやっていきたいと考えている。具体的には指定管理者と一緒に考えたい。

野藤委員

中のスペースは、鯖寿司、のどぐろ寿司、周辺テントで作ったものを売るのはイベント的には良いと思う。周りに何もないのはにぎわいづくりのためにもそういったものがあればいいなと思っている。以前飛野副委員長が言っていたノドグロのモニュメントがないというのを思い出した。今どんちっち三魚のモニュメントがない。どんちっち三魚をイメージするものがないと思うが。市役所に来てposterはあるがないなど。港周辺もないなど。周辺環境も必要と思うが。

水産振興課副参事

仲買売場の西側の外壁にどんちっち三魚を描いてある。シンボリックなもの、ランドマークになるようなものは今のところ考えてない。山陰浜田港公設市場の入り口には1つ大きくはないが看板を建てたいと思う。

野藤委員

以前は夢物語と思えたが今考えてみれば、必要だったのかなと思う。オーバーかもしれないが、何かそういうものがあるのではないか。

布施委員

イベントだが、BB大鍋、にぎわいづくり。イベント的には商工会議所と、新しくなった時に今あるイベントは継続されるかは聞いていないが、されると思う。その他のイベントも必要だと思う。例はアクアスの春秋まつり。テントを出してすごいにぎわい。広島からも客が来る。価格設定があるがすごい集客がある。神楽は当たり前だとしてもその辺のやり

	<p>方や仕掛け作りは第一ビルサービスがやるのかといったらそうではない。商工会議所も入るのはいいがイベントの指導は浜田市がやらねば。多額を入れて整備したのだから、周辺エリアの活性化として指導をするべきだと思う。イベント開催は商工会議所と話す必要があると思うが増やす気持ちがあるか。</p>
<p>水産振興課副参事</p>	<p>浜っ子夏祭り、マリン大橋リレーマラソン、しおかぜ駅伝等、旧お魚センター・公設市場を核としていろいろなイベントをしてきた。新しくなったことを示す意味でも新しいイベントを考えるべきだと思う。お魚をしっかりと売っていくイベントをもっと考えないといけないと思っている。</p>
<p>布施委員</p>	<p>思うだけでなく現実として形にしていきたい。成功すれば言うことはない。失敗しても勉強させていただいたと受け止めれば良い。やらないからずっとこういう状況である。旧お魚センターがこういう状態だから新しい公設市場はこうしようというわけだ。それを顕在化して目に見える形でやる、それが少しでもできるものがあれば勉強して挑戦する。それを指導するのが市の役目だと思う。イベントを数多くすることが目的ではないが新しいものへの挑戦が大事である。関係者にこの考えを共有していきたい。日本人はお祭り好きでイベントに集まるから。ぜひ季節通じてやってもらいたい。</p>
<p>飛野副委員長</p>	<p>のどぐろモニュメントについて。7年前の話だが。モニュメント1つ作って、のどぐろは浜田だとアピールするべきである。この心は変わらない。ぜひ検討してもらいたい。</p>
<p>串崎委員長</p>	<p>大きな駐車場があるので、土日にイベントをしてもらいたい。モニュメントも大きな駐車場に建ててもらいたい。</p>
<p>まちづくり推進課長</p>	<p>デマンドタクシーについて。</p>
<p>串崎委員長</p>	<p>(以下、説明)</p>
<p>道下委員</p>	<p>今の件について質疑はあるか。</p>
<p>まちづくり推進課長</p>	<p>石見交通さんが山陰浜田港公設市場のルートの決定は最終的にはいつ結果が出るか。</p>
<p>道下委員</p>	<p>来年3月のオープンに合わせてになるが、運輸局への許認可の手続きがあるので運行開始3か月前には計画を立てて、中国運輸局に許認可の手続きをする必要があるのものでそれまでに内容を固める必要があるしたい。</p>
<p>まちづくり推進課長</p>	<p>12月中にはだいたい目途をつけるのか。</p>
<p>野藤委員</p>	<p>実現の可能性も含めて方向性が出るものと思う。</p>
<p>まちづくり推進課長</p>	<p>実現の可能性も含めてとのこであるが試験的には難しいのか。3分の1程度通行させることはできないか、期間を決めてやるとか。</p>
<p>まちづくり推進課長</p>	<p>一時的なものであっても、運行ルートの変更には許認可が</p>

布施委員

必要なので簡単にいかないという認識。朝夕の通勤通学時間帯は乗り入れせずに今までどおりで、昼間の運行のみを考えている。

定住関係人口推進課長

関係人口で聞いておきたい。定住やU I ターンの皆に、一つの魅力の紹介として、浜田港周辺エリア施設の魅力も左右すると思う。関係人口として周辺エリアをどう考えているか。

定住者に浜田市の魅力をPRする際、魚、農産品、米がおいしいことは大きなPRポイントである。また定住者の中には第一次産業に関わりたくて移住を検討される方もいらっしゃるので、魅力の1つと考えている。

布施委員

お魚センター周辺も広島方面から買い物に来る方がいて、関係人口につながる要素になっていた。また浜田のお魚を広島で買われたのをきっかけに観光で浜田に来られる方もいることも、交流人口から関係人口になったと捉えている。そういったつながりが深まり、広がれば良い。

拠点があり、それを知ること。良いものを送ってきた時はまた頼みたくなる。市を通すのでなくユーザーと業者のつながりが支えになる。いろんな相乗効果で盛り上がるのが良い。人口定住に向けてあれば是非PRしていただきたい。

川上委員

観光客は一過性のもので、リピーターとしての考え方のために、どのようにこの施設を活用するか、水産関係の方と打ち合わせたことがあれば聞きたい。

定住関係人口推進課長

私どもの課は今年4月に立ち上がり、私が課長についてからは申し訳ないが、浜田漁港周辺エリアに関しては協議していない。

川上委員

先般、私どもの委員会では、横断的などという話がたくさん出た。部や課を超えた動きを生かしていただきたい。

串崎委員長

観光交流課長としてお魚センターエリアをどのようにすればお客さんが来るか、お考えを聞きたい。

観光交流課長

漁港活性化の検討委員会の中でも、観光だけに特化するより、市民の方が集う、市民が行かないところには観光客も行かないと思う。そういった意味では旧お魚センターを初め、漁港エリアに県外から来られたお客さんの期待を裏切らない、ここに来たら面白いという施設であり港になってほしい。

観光関係、宿泊施設からすれば、チェックアウトされる際におすすめの場所を聞かれても現在非常に答えにくい。宿泊施設からの意見も聞くことも、今後指定管理者中心ということもあるが市の方も一緒に考えて皆が説明しやすい、あるいは期待を裏切らない施設を考えていきたい。期待の中には市民の期待も裏切らないことが重要となるので最初の話に戻るが観光客だけではなくて市民の方が集うエリアになって市民の方に愛されそこに観光客が集まる場所になってほしい。

串崎委員長
水産振興課長

笹田委員

串崎委員長

素晴らしい回答だった。他にあるか。
海面漁業と養殖業の生産量が逆転したと言ったが、私の勘違いだった。まだ海面漁業のほうが割合は多い。
プロジェクトチーム立ち上げることになったら再度JAをどうするか、前向きに協議してもらいたい。
執行部はこれで退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

(2) その他

串崎委員長

ここまで聞いた話を次回までに整理していただき、今後どうするかとしたいがそれで良いか。
(「はい」という声あり)
それまでに整理したい。
以上で産業建設委員会を終了する。

[13 時 16 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行